産業廃棄物焼却施設の排ガス中のダイオキシン類濃度等について

（１）産業廃棄物焼却施設の排ガス中のダイオキシン類濃度

令和６年３月 31 日時点で稼動中の産業廃棄物焼却施設炉 1,109 炉のうち、測定結果が得られた 1,074 炉の排ガス中のダイオキシン類濃度分布を図１に、産業廃棄物焼却施設の種類ごとのダイオキシン類濃度を図２と表１に示す。

これらのうち、稼働中施設の焼却炉の処理能力に応じた排出基準への適合状況を表２に示す。排ガス中のダイオキシン類濃度の基準と比較したところ、約 99%の炉が適合している。一方で、稼動中の焼却炉の処理能力別のダイオキシン類濃度基準への不適合が、平成９年 12 月１日以前に設置又は設置の許可申請がされていた施設で８炉、平成９年 12 月２日以降に設置の許可申請がされた施設で８炉、計 16 炉見られ、その対応状況を表３に示す。

なお、都道府県・政令市別ダイオキシン類濃度分布データを別表１に示している。

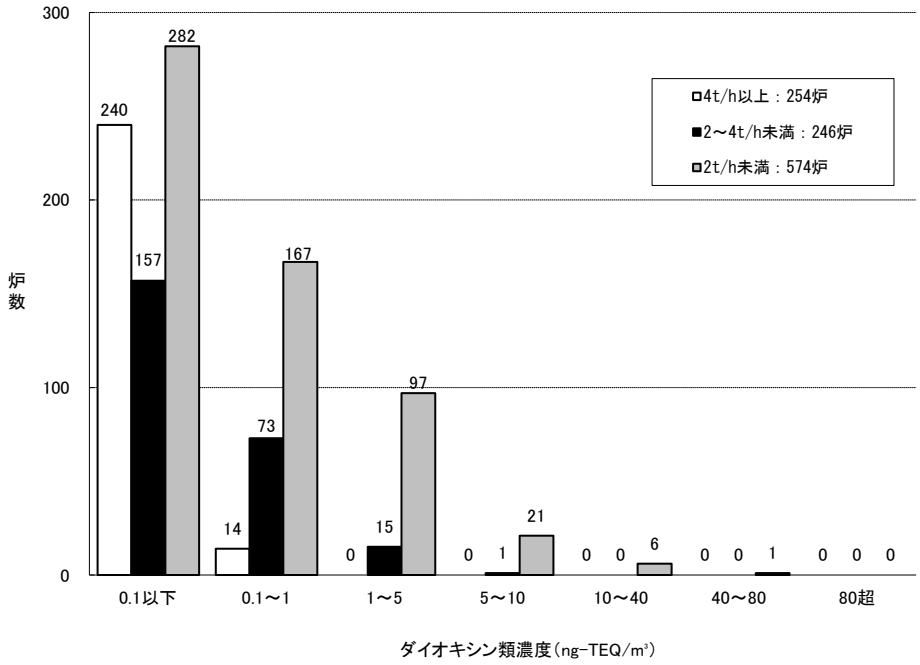


図 1 稼働中の焼却施設の処理能力別ダイオキシン類濃度分布

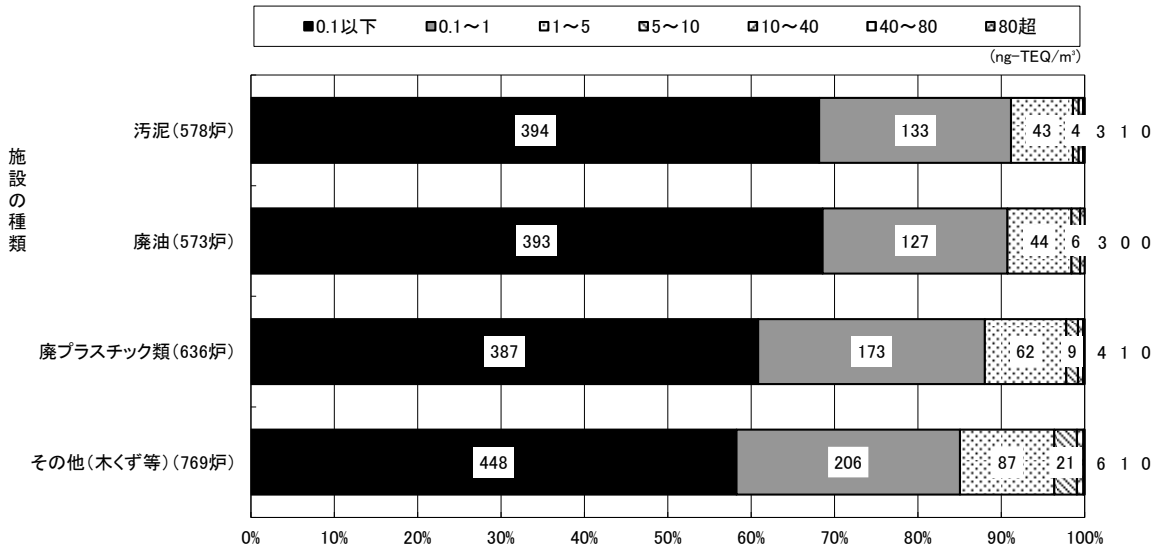


図 2 産業廃棄物焼却施設の種類ごとの排ガス中のダイオキシン類濃度区分別構成比

表 1 稼働中の焼却施設の種類別ダイオキシン類濃度分布

施設の種類	ダイオキシン類濃度(ng-TEQ/m³N)							炉合計	濃度平均値
	0.1 以下	0.1 超～1 以下	1 超～5 以下	5 超～10 以下	10 超～40 以下	40 超～80 以下	80 超		
汚泥	394	133	43	4	3	1	0	578	0.55
	68.2%	23.0%	7.4%	0.7%	0.5%	0.2%	0.0%	100.0%	
廃油	393	127	44	6	3	0	0	573	0.48
	68.6%	22.2%	7.7%	1.0%	0.5%	0.0%	0.0%	100.0%	
廃プラ	387	173	62	9	4	1	0	636	0.71
	60.8%	27.2%	9.7%	1.4%	0.6%	0.2%	0.0%	100.0%	
その他（木くず等）	448	206	87	21	6	1	0	769	0.85
	58.3%	26.8%	11.3%	2.7%	0.8%	0.1%	0.0%	100.0%	

注）同一の炉において複数種類の産業廃棄物を処理する場合は、すべての種類に炉数を計上しているため、種類別炉数の和は全炉数と一致しない。

注）複数回測定している場合は平均値を採用した。

表 2 稼働中施設における焼却炉のダイオキシン類排出基準適合状況

燃焼室の処理能力	既設				新設				合計		
	排出基準	適合炉数	不適合炉数	有回答炉数	排出基準	適合炉数	不適合炉数	有回答炉数	適合炉数	不適合炉数	有回答炉数
4t/h 以上	1	95 (100%)	0	95	0.1	158 (97.5%)	4	162	253 (98.4%)	4	257
2～4t/h 未満	5	115 (97.5%)	3	118	1	127 (100%)	0	127	242 (98.8%)	3	245
2t/h 未満	10	347 (98.6%)	5	352	5	215 (98.2%)	4	219	562 (98.4%)	9	571
計		557 (98.6%)	8	565		500 (98.4%)	8	508	1,057 (98.5%)	16	1,073

注）平成９年 12 月１日以前に設置又は設置の許可申請がされていた施設を旧基準施設、平成９年 12 月２日以降に設置の許可申請がされた施設を現基準施設としている。なお、施設数は、複数の炉が共通煙道を共有する場合は１施設としてカウントしている。排出基準の単位は ng-TEQ/m^3N である。

表 3 排出基準値を超えた炉の対応状況及び現状

基準値 (ng-TEQ/m³N)	都道府県・政令市名	ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m³N)	対応状況	現　　状
10 以下	滋賀県	23	施設の改善及び使用停止を命令。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	広島県	11	施設の使用停止及び改善を命令。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	宮崎県	40	施設の使用停止及び改善を指示。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	新潟市	59	施設の稼働停止を命令。改善対策を実施。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	岐阜市	18	施設の使用停止。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
5 以下	山梨県	5.7	施設の使用停止及び改善を指導。超過の原因究明を実施。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	宮崎県	72	施設の使用停止及び改善を指示。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	沖縄県	51	施設の使用停止及び改善命令。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	鹿児島市	28	改善命令及び使用停止命令。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	いわき市	6.7	施設の使用停止及び改善を指導。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	相模原市	7.8	改善指導に従い、改善報告書提出済み。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	船橋市	9.9	施設の使用停止及び改善を指導。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
0.1 以下	静岡県	0.25	施設の改善を実施。	施設改造により焼却能力区分変更した結果、適用される基準値が変更。改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	愛媛県	0.15	燃料構成の見直し等、操業改善を実施。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	いわき市	0.16	施設の使用停止及び改善を指導。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。
	いわき市	0.50	施設の使用停止及び改善を指導。	改善後の再測定の結果、基準値以下を確認し、稼働中。

注）調査期間中に測定した排ガス中のダイオキシン類濃度が排出基準超過した炉を対象としている。複数回測定施設については、最大値を採用した。

（２）産業廃棄物焼却施設の休・廃止状況

産業廃棄物焼却施設数の推移について表４に示す。（平成９年 12 月１日―令和５年３月 31 日） なお、令和５年度の都道府県・政令市別のデータは別表２のとおりである。

表 4 産業廃棄物焼却施設数の推移

	供用中(注	稼働中	休止中	廃止	新規供用
H9.12.1	5,757	－	－	－	－
H10.12.1	4,493 (4,668)	3,840	653	1,393	129
H11.12.1	4,487 (4,456) ＜2,040 万トン＞	3,942	545	282	101
H12.12.1	4,259 (4,229) ＜2,050 万トン＞	3,705	554	246	49
H13.12.1	3,942 (3,915) ＜2,310 万トン＞	3,421	521	311	24
H14.12.1	2,578 (2,561) ＜2,390 万トン＞	1,534	1,044	1,387	50
H15.12.1	2,357 (2,362) ＜2,500 万トン＞	1,834	523	253	43
H16.12.1	2,247 (2,271) ＜2,709 万トン＞	1,887	360	131	16
H17.12.1	2,211 (2,184) ＜3,012 万トン＞	1,882	329	78	18
H19.4.1	2,112 (2,149) ＜3,303 万トン＞	1,818	294	103	31
H20.4.1	2,064 (2,028) ＜2,845 万トン＞	1,779	285	99	14
H21.4.1	1,978 ＜3,780 万トン＞	1,678	300	64	14
				86	13

	供用中(注	稼働中	休止中	廃止	新規供用
H22.4.1	1,905 (1,841) <3,885 万トン>	1,577	328	104	13
H23.4.1	1,750 (1,743) <3,856 万トン>	1,456	294	119	13
H24.4.1	1,638 (1,607) <3,495 万トン>	1,354	284	83	6
H25.4.1	1,530 (1,494) <3,325 万トン>	1,280	250	112	13
H26.4.1	1,395 (1,361) <3,495 万トン>	1,211	184	45	13
H27.4.1	1,329 (1,313) <3,529 万トン>	1,146	183	38	4
H28.4.1	1,279 (1,310) <3,236 万トン>	1,095	184	63	14
H29.4.1	1,261 (1,260) <3,205 万トン>	1,090	171	43	6
H30.4.1	1,223 (1,224) <3,352 万トン>	1,066	157	52	9
H31.4.1	1,181 (1,179) <3,188 万トン>	1,051	130	34	12
R2.4.1	1,157 (1,153) <3,358 万トン>	1,029	128	44	15
R3.4.1	1,124 (1,124) <3,252 万トン>	1,006	118	30	13
R4.4.1	1,107 (1,109) <3,526 万トン>	1,008	99	18	13
R5.4.1	1,104 (1,108) <2,987 万トン>	978	126	30	11
R6.4.1	1,089 <3,055 万トン>	985	104	－	－

注)「供用中」欄の（ ）内の数値は、次年度調査における修正後の値である。また、＜＞内の数値は、各施設の 1 日あたりの処理能力に稼働日数を乗じて算出した推計年間処理能力である。供用中に許可を取り消された施設は、平成 15 年調査以前は回答に従って休止中あるいは廃止に計上したが、平成 16 年調査以降は廃止として計上した。

（３）産業廃棄物焼却施設からのダイオキシン類の総排出量の推計

産業廃棄物焼却施設における年間焼却量、排ガス中のダイオキシン類濃度等を基に、産業廃棄物焼却施設からのダイオキシン類の総排出量の推計を行った。

推計に当たっては、年間焼却量、排ガス量原単位及び排ガス中のダイオキシン類濃度を掛け合わせたものを全施設について合算した。年間焼却量や排ガス中のダイオキシン類濃度が不明であった施設については、今回の調査で得られた令和５年４月１日から令和６年３月 31 日までのデータを基に処理能力及び稼働・休止・廃止の別に年間焼却量及び排ガス中のダイオキシン類濃度の平均値を算出し、これを推計値として代入した。

その結果、令和５年４月１日から令和６年３月 31 日までの１年間の全国の産業廃棄物焼却施設（供用中 1,089 施設及び廃止 30 施設）からのダイオキシン類総排出量の推計値は約 15g-TEQ となり、推計年間焼却量は約 2,183 万トンであった。

なお、参考までに、前年の調査におけるダイオキシン類総排出量の推計値は約 15g-TEQ であり、推計年間焼却量は約 2,131 万トンであった。

参 考 資 料

別表１	産業廃棄物焼却施設の排ガス中のダイオキシン類濃度区分別炉数 （都道府県・政令市別データ）
別表２	産業廃棄物焼却施設の稼働・休・廃止状況 （都道府県・政令市別データ）
別図１	産業廃棄物焼却施設の排ガス中のダイオキシン類排出量の推移

別表１

産業廃棄物焼却施設の排ガス中のダイオキシン類濃度区分別炉数　（１／３）

No.	都道府県名	0.1 以下	0.1 超～1 以下	1 超～5 以下	5 超～10 以下	10 超～40 以下	40 超～80 以下	80 超	計
都道府県・政令市合計		683	256	112	22	6	1	0	1,080
1	北海道	22	11	2	0	0	0	0	35
2	青森県	2	5	1	0	0	0	0	8
3	岩手県	8	2	0	0	0	0	0	10
4	宮城県	7	5	1	0	0	0	0	13
5	秋田県	6	3	0	0	0	0	0	9
6	山形県	9	2	3	0	0	0	0	14
7	福島県	15	1	0	0	0	0	0	16
8	茨城県	28	11	2	1	0	0	0	42
9	栃木県	14	3	3	0	0	0	0	20
10	群馬県	11	2	1	0	0	0	0	14
11	埼玉県	19	11	3	0	0	0	0	33
12	千葉県	43	5	0	0	0	0	0	48
13	東京都	10	6	0	0	0	0	0	16
14	神奈川県	5	0	1	0	0	0	0	6
15	新潟県	20	15	2	0	0	0	0	37
16	富山県	4	1	1	0	0	0	0	6
17	石川県	4	2	1	0	0	0	0	7
18	福井県	3	2	1	0	0	0	0	6
19	山梨県	2	2	0	1	0	0	0	5
20	長野県	5	4	4	0	0	0	0	13
21	岐阜県	10	4	1	0	0	0	0	15
22	静岡県	35	14	5	1	0	0	0	55
23	愛知県	28	7	4	0	0	0	0	39
24	三重県	17	1	1	0	0	0	0	19
25	滋賀県	5	4	2	0	1	0	0	12
26	京都府	3	1	0	0	0	0	0	4
27	大阪府	4	3	0	0	0	0	0	7
28	兵庫県	13	6	3	0	0	0	0	22
29	奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0
30	和歌山県	0	1	0	1	0	0	0	2
31	鳥取県	3	0	1	1	0	0	0	5
32	島根県	0	3	1	0	0	0	0	4
33	岡山県	3	2	0	0	0	0	0	5
34	広島県	13	4	2	1	0	0	0	20
35	山口県	34	1	2	1	0	0	0	38
36	徳島県	8	4	3	0	0	0	0	15
37	香川県	7	3	4	0	0	0	0	14
38	愛媛県	20	5	3	1	0	0	0	29
39	高知県	2	0	2	0	0	0	0	4
40	福岡県	5	2	2	0	0	0	0	9
41	佐賀県	4	3	3	1	0	0	0	11
42	長崎県	5	1	2	0	0	0	0	8
43	熊本県	4	3	3	0	0	0	0	10
44	大分県	4	0	1	1	0	0	0	6
45	宮崎県	6	0	3	0	2	0	0	11
46	鹿児島県	0	2	2	0	0	0	0	4
47	沖縄県	2	6	0	0	0	1	0	9

No.	政令市名	0.1 以下	0.1 超～1 以下	1 超～5 以下	5 超～10 以下	10 超～40 以下	40 超～80 以下	80 超	計
50	旭川市	1	0	0	0	0	0	0	1
51	札幌市	1	0	0	0	0	0	0	1
52	函館市	1	0	0	0	0	0	0	1
54	仙台市	3	0	0	0	0	0	0	3
55	千葉市	1	0	1	0	0	0	0	2
56	横浜市	5	2	0	0	0	0	0	7
57	川崎市	21	0	1	0	0	0	0	22
58	横須賀市	0	1	0	0	0	0	0	1
59	新潟市	9	3	0	0	1	0	0	13
60	金沢市	1	3	0	0	0	0	0	4
61	岐阜市	0	0	0	0	1	0	0	1
62	静岡市	1	2	2	0	0	0	0	5
63	浜松市	2	0	1	0	0	0	0	3
64	名古屋市	1	0	0	0	0	0	0	1
65	京都市	3	1	0	0	0	0	0	4
66	大阪市	6	3	1	2	0	0	0	12
67	堺市	10	0	0	0	0	0	0	10
68	東大阪市	0	1	0	0	0	0	0	1
69	神戸市	2	0	1	0	0	0	0	3
70	姫路市	13	2	2	0	0	0	0	17
71	尼崎市	3	2	2	0	0	0	0	7
72	和歌山市	5	0	2	0	0	0	0	7
73	広島市	2	7	1	0	0	0	0	10
74	呉市	1	1	0	0	0	0	0	2
75	下関市	0	1	0	1	0	0	0	2
76	北九州市	15	4	1	0	0	0	0	20
77	福岡市	3	1	0	0	0	0	0	4
79	長崎市	1	0	0	0	0	0	0	1
80	佐世保市	0	2	0	0	0	0	0	2
81	熊本市	5	1	0	0	0	0	0	6
82	鹿児島市	1	4	1	0	1	0	0	7
83	岡山市	5	5	3	2	0	0	0	15
84	宇都宮市	1	0	1	0	0	0	0	2
85	富山市	5	0	1	0	0	0	0	6
86	秋田市	3	2	1	0	0	0	0	6
87	郡山市	0	2	1	0	0	0	0	3
88	大分市	12	1	0	0	0	0	0	13
89	松山市	1	1	0	0	0	0	0	2
90	豊田市	2	1	0	0	0	0	0	3
91	福山市	4	1	0	1	0	0	0	6
92	高知市	0	2	2	0	0	0	0	4
93	宮崎市	0	1	0	0	0	0	0	1
94	いわき市	10	1	1	1	0	0	0	13
95	長野市	1	0	1	0	0	0	0	2
96	豊橋市	4	2	0	0	0	0	0	6
97	高松市	0	0	3	0	0	0	0	3
98	相模原市	3	4	2	0	0	0	0	9
99	西宮市	0	1	0	0	0	0	0	1

No.	政令市名	0.1 以下	0.1 超～1 以下	1 超～5 以下	5 超～10 以下	10 超～40 以下	40 超～80 以下	80 超	計
100	倉敷市	11	1	1	0	0	0	0	13
101	さいたま市	0	1	0	0	0	0	0	1
102	奈良市	1	0	0	0	0	0	0	1
103	川越市	3	0	0	0	0	0	0	3
104	船橋市	1	0	0	1	0	0	0	2
105	岡崎市	1	0	0	0	0	0	0	1
106	高槻市	0	0	1	0	0	0	0	1
108	青森市	2	0	0	0	0	0	0	2
109	八王子市	0	0	1	0	0	0	0	1
110	盛岡市	0	4	0	0	0	0	0	4
111	柏市	1	1	0	0	0	0	0	2
112	久留米市	2	2	0	0	0	0	0	4
114	前橋市	1	1	0	0	0	0	0	2
115	大津市	0	1	0	0	0	0	0	1
116	高崎市	3	0	0	0	0	0	0	3
118	豊中市	0	0	0	0	0	0	0	0
119	那覇市	0	0	0	0	0	0	0	0
120	枚方市	0	0	0	0	0	0	0	0
121	越谷市	0	0	0	0	0	0	0	0
122	八戸市	7	2	0	0	0	0	0	9
124	福島市	0	1	0	0	0	0	0	1
125	川口市	0	0	0	0	0	0	0	0
126	八尾市	0	0	0	0	0	0	0	0
127	明石市	0	0	0	0	0	0	0	0
128	鳥取市	2	1	0	2	0	0	0	5
129	松江市	3	0	0	0	0	0	0	3
130	山形市	1	0	0	0	0	0	0	1
131	福井市	3	1	1	1	0	0	0	6
132	甲府市	0	0	0	1	0	0	0	1
133	寝屋川市	0	0	0	0	0	0	0	0
134	水戸市	0	0	0	0	0	0	0	0
135	吹田市	0	0	0	0	0	0	0	0
136	松本市	1	2	0	0	0	0	0	3
137	一宮市	0	0	0	0	0	0	0	0

注） 各濃度区分の単位は、ng-TEQ/m^{3}N

複数回測定している場合は平均値を採用した。

別表２

産業廃棄物焼却施設の稼働・休・廃止状況（都道府県・政令市別データ）　（１／３）

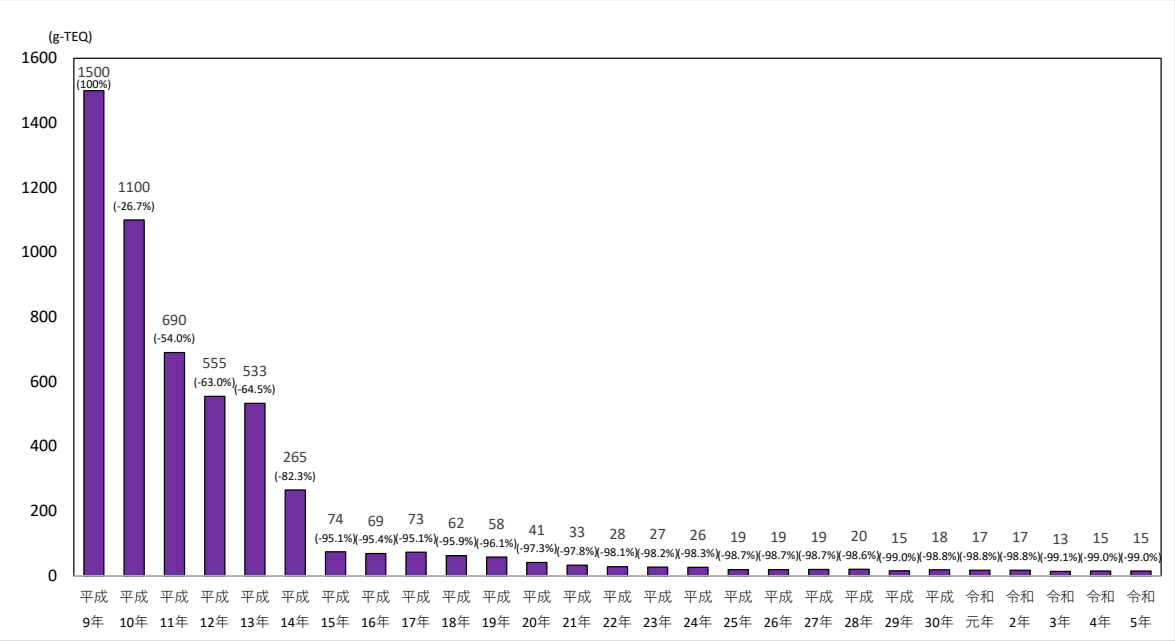
No.	都道府県名	R5.4.1	R5.4.1～R6.3.31		R6.3.31		
		供用中	新規供用	廃止	供用中		
						稼動中	休止中
都道府県・政令市　合計		1,081	11	0	1,092	988	104
1	北海道	32	1	0	33	32	1
2	青森県	9	0	0	9	8	1
3	岩手県	8	0	0	8	8	0
4	宮城県	11	0	0	11	10	1
5	秋田県	11	0	0	11	8	3
6	山形県	15	0	0	15	14	1
7	福島県	17	0	0	17	16	1
8	茨城県	46	0	0	46	41	5
9	栃木県	22	0	0	22	19	3
10	群馬県	14	0	0	14	13	1
11	埼玉県	28	0	0	28	28	0
12	千葉県	42	0	0	42	42	0
13	東京都	12	0	0	12	11	1
14	神奈川県	6	0	0	6	6	0
15	新潟県	36	0	0	36	35	1
16	富山県	8	0	0	8	7	1
17	石川県	7	0	0	7	6	1
18	福井県	7	0	0	7	6	1
19	山梨県	4	1	0	5	5	0
20	長野県	15	0	0	15	13	2
21	岐阜県	16	0	0	16	14	2
22	静岡県	42	1	0	43	42	1
23	愛知県	40	1	0	41	39	2
24	三重県	19	0	0	19	18	1
25	滋賀県	14	0	0	14	11	3
26	京都府	4	0	0	4	4	0
27	大阪府	9	0	0	9	9	0
28	兵庫県	20	1	0	21	21	0
29	奈良県	7	0	0	7	1	6
30	和歌山県	3	0	0	3	2	1
31	鳥取県	6	0	0	6	5	1
32	島根県	3	0	0	3	2	1
33	岡山県	6	0	0	6	5	1
34	広島県	21	1	0	22	20	2
35	山口県	38	0	0	38	36	2
36	徳島県	13	0	0	13	12	1
37	香川県	14	0	0	14	14	0
38	愛媛県	27	1	0	28	28	0
39	高知県	4	0	0	4	4	0
40	福岡県	11	0	0	11	9	2
41	佐賀県	11	1	0	12	9	3
42	長崎県	9	0	0	9	8	1
43	熊本県	14	1	0	15	11	4
44	大分県	8	0	0	8	8	0
45	宮崎県	12	0	0	12	11	1
46	鹿児島県	7	0	0	7	4	3
47	沖縄県	6	0	0	6	5	1

No.	都道府県名	R5.4.1	R5.4.1～R6.3.31		R6.3.31		
		供用中	新規供用	廃止	供用中		
						稼動中	休止中
50	旭川市	1	0	0	1	1	0
51	札幌市	1	0	0	1	1	0
52	函館市	2	0	0	2	1	1
54	仙台市	3	0	0	3	3	0
55	千葉市	2	0	0	2	2	0
56	横浜市	7	0	0	7	6	1
57	川崎市	20	0	0	20	20	0
58	横須賀市	1	0	0	1	1	0
59	新潟市	14	0	0	14	13	1
60	金沢市	6	0	0	6	4	2
61	岐阜市	1	0	0	1	1	0
62	静岡市	5	0	0	5	5	0
63	浜松市	3	0	0	3	3	0
64	名古屋市	2	0	0	2	1	1
65	京都市	4	0	0	4	4	0
66	大阪市	10	0	0	10	9	1
67	堺市	8	0	0	8	8	0
68	東大阪市	1	0	0	1	1	0
69	神戸市	4	0	0	4	3	1
70	姫路市	17	0	0	17	16	1
71	尼崎市	5	0	0	5	5	0
72	和歌山市	5	0	0	5	4	1
73	広島市	12	0	0	12	11	1
74	呉市	2	0	0	2	2	0
75	下関市	3	0	0	3	2	1
76	北九州市	17	0	0	17	15	2
77	福岡市	2	0	0	2	2	0
79	長崎市	1	0	0	1	1	0
80	佐世保市	2	0	0	2	2	0
81	熊本市	7	0	0	7	5	2
82	鹿児島市	9	0	0	9	7	2
83	岡山市	16	0	0	16	10	6
84	宇都宮市	3	0	0	3	2	1
85	富山市	9	0	0	9	8	1
86	秋田市	6	0	0	6	6	0
87	郡山市	3	0	0	3	3	0
88	大分市	8	0	0	8	8	0
89	松山市	5	0	0	5	2	3
90	豊田市	3	0	0	3	3	0
91	福山市	6	0	0	6	5	1
92	高知市	4	0	0	4	4	0
93	宮崎市	1	0	0	1	1	0
94	いわき市	14	0	0	14	13	1
95	長野市	1	0	0	1	1	0
96	豊橋市	6	0	0	6	6	0
97	高松市	3	0	0	3	2	1
98	相模原市	8	0	0	8	8	0
99	西宮市	1	0	0	1	1	0

No.	都道府県名	R5.4.1	R5.4.1～R6.3.31		R6.3.31		
		供用中	新規供用	廃止	供用中		
						稼動中	休止中
100	倉敷市	13	0	0	13	12	1
101	さいたま市	3	0	0	3	1	2
102	奈良市	1	0	0	1	1	0
103	川越市	3	0	0	3	3	0
104	船橋市	2	0	0	2	2	0
105	岡崎市	2	0	0	2	1	1
106	高槻市	1	0	0	1	1	0
108	青森市	2	1	0	3	2	1
109	八王子市	1	0	0	1	1	0
110	盛岡市	5	0	0	5	4	1
111	柏市	1	0	0	1	1	0
112	久留米市	4	0	0	4	4	0
114	前橋市	4	0	0	4	2	2
115	大津市	1	0	0	1	1	0
116	高崎市	4	0	0	4	4	0
118	豊中市	0	0	0	0	0	0
119	那覇市	0	0	0	0	0	0
120	枚方市	0	0	0	0	0	0
121	越谷市	0	0	0	0	0	0
122	八戸市	9	0	0	9	8	1
124	福島市	1	0	0	1	1	0
125	川口市	0	0	0	0	0	0
126	八尾市	0	0	0	0	0	0
127	明石市	0	0	0	0	0	0
128	鳥取市	5	0	0	5	5	0
129	松江市	2	0	0	2	2	0
130	山形市	1	0	0	1	1	0
131	福井市	3	1	0	4	4	0
132	甲府市	1	0	0	1	1	0
133	寝屋川市	0	0	0	0	0	0
134	水戸市	0	0	0	0	0	0
135	吹田市	0	0	0	0	0	0
136	松本市	3	0	0	3	3	0
137	一宮市	1	0	0	1	1	0

別図１

産業廃棄物焼却施設の排ガス中のダイオキシン類排出量の推移



注）括弧内の数字は平成９年度からのダイオキシン類排出量の削減率を表す。